

これってな～に??

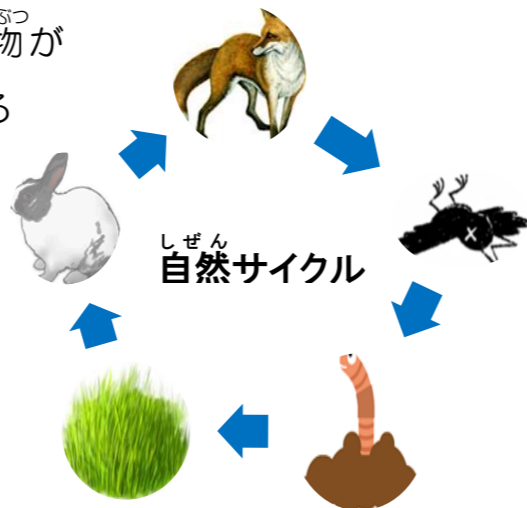
～ エコロジー ～



平成28年2月 府中地区まちづくり協議会 発行

自然界の根本エネルギーである太陽光を利用して植物が光合成をし、無機物を有機物に変えます。それを食べる草食動物、さらにそれを食べる肉食動物がいます。動物が死ぬとミミズやバクテリアによって分解され、無機物になって土にかえり、やがて有機物に変換されます。この流れが自然サイクルです。

エコロジーとは人間の作り出したシステムをこの自然サイクルに近づけることです。自然界にはゴミはなく、すべてが還元されます。しかし人間の社会は自然界で分解されない物を大量に出します。私たちの快適な生活は自然環境に大きな負荷をかけてしまっているのです。その負荷を少しでも減らすため私たちにすべきことはたくさんあります。



- ・「マイ×」を持とう！ マイ箸・マイ水筒・マイバック（エコバック）……
 - ・地産地消を心がけよう！ 輸送時に排出される二酸化炭素を削減できます。二酸化炭素は地球温暖化の原因のひとつです。削減しないと今世紀末には約4.8度気温が上昇すると専門家は警告しています。
 - ・リサイクルショップを活用しよう！ アクセサリー、かばん、くつ、インテリア、家電……
 - ・図書館を利用しよう！ 新刊はリサイクルショップでも高価。借りればタダです。
 - ・電気自動車に買い換えよう！ 走行時のCO2排出量が少ない！ 高価ですけど…
- まだまだたくさんありますが、気付いたことからやってみる！これが第1歩です。

ご協力ありがとうございました。

府中地区まちづくり協議会では3年前から住民の皆さん、小・中学校の皆さんと一緒に梅谷地区金地川一帯で「ビオトープづくり」に取り組んできました。とくに平成27年度は岐阜県の森林環境税によるご支援をいただけたことにより「未来に繋ぐ自然体験学習の里づくり」として従来の活動を一層レベルアップさせることができました。ご協力いただいた関係者の皆様に感謝申し上げます。お陰で、私たちは金地川周辺地域が、在来生物の豊かな、昔ながらの風土を取り戻し、次世代へ引き継がれることを期待しつつ、子どもたちの参加による生物多様性の学習会等有意義な活動ができました。

今後は引き続き、住民や来町者の皆さんが自然の豊かさに癒やされ、環境を守ることの大切さを実感できるような場所にするを目標として整備活動を継続いたします。皆さんのご協力をお願いいたします。

府中地区まちづくり協議会 会長 早瀬 正敏

はいよいよ最終号。あっという間でした。様々な活動に参加し取材する中で、地域の皆さんがこの府中を何とかよくしていこうと奮闘する姿に感動しました。私たち中学生に広報の仕事を任せてくださったこともとてもうれしかったです。今後も地域の活動に積極的に参加して行こうと思っています。

地域の皆さん、ご愛読本当にありがとうございました！

編集部員：児玉直也／小川雅弥／伊藤海月／安村 涼平／高島一起／関谷梨華子

メニュー

1. ごあいさつ
2. メニュー
3. 注目ニュース
4. ヤング・ボイス
5. これってな～に??
6. 編集後記

注目 ニュース

第4回 緑豊かな清流の国ぎふづくり県民フォーラムで「未来に繋ぐ自然体験学習の里づくり」の活動発表が行われます。

日時 平成28年3月5日（土）
13:30～16:00

場所 ソフトピアジャパンセンター
1階セミナーホール

ヤング・ボイス

ねん かつどう ふ かえ ～1年の活動を振り返って～

僕は、この活動を通して、これからの府中地区が今以上に自然が豊かになってもらいたいです。そのために、これからいろいろな活動に参加していきたくです。「ビオトープづくり2015」では、金地川の植樹や看板の設置、外来植物の伐採を行いました。あの時植えた苗がすくすくと成長していくことを願っています。

それとともに、府中地区を元気のある町に成長させていきたいです。今の府中地区は、特に山の方面で少子高齢化が進んでいると府中地区まちづくり協議会の方からうかがいました。少子高齢化を防ぐためにも、僕たち中学生が中心になって活動していきたくと思ひます。



きたちゅう ねん こだま なおや
北中2年 児玉 直也

僕はビオトープづくりをやってみて、とても貴重な体験ができて楽しかったです。普段は木などに興味を持って調べたりすることはあまりありません。今回の体験で、知らない木の名前などがでてきて、植物への関心が少し高まりました。指導の児玉孝哉先生が丁寧に教えてくださり、次またこういう機会があれば参加していきたくです。

僕達は普段植物を大切にしようという気持ちがなく、植物を雑に扱っています。今回の体験で植物への興味が高まったので、これからは植物を大切にする心を持ちたいと思ひます。



きたちゅう ねん おがわ まさや
北中2年 小川 雅弥

僕はこの府中地区は住民同士の交流がある地域だと思ひます。地域の活動に積極的に参加し貢献する人が増えてきました。またあいさつもできるようになってきました。しかしまだ自分たちからあいさつができるようになっていないと思ひます。されたら返すのではなく、自分達からあいさつができると地域もよりあたたかくなると思ひます。あいさつがあふれる地区を目指していきたくと思ひます。

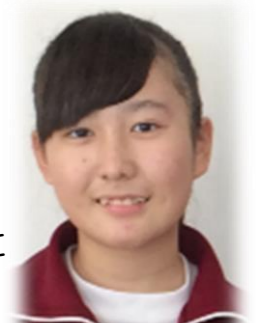


きたちゅう ねん やすむら りょうへい
北中2年 安村 涼平

私は、可能な限り地域の行事に参加していますが、地区長として、もっとたくさんの方々と関わって行きたいと思ひます。そのために、地域について、もっと深く真剣に考えたいです。例としてあがっているのは、「環境」と「あいさつ」です。

一つ目の「環境」については、今よりも府中をきれいにしていくため、清掃活動を活発に行うこと、みんなで行うことが大切だと思ひます。

二つ目の「あいさつ」については、知っている人にだけするのではなく、会った人に自分から気持ちの良いあいさつを、いつでもできる姿を目指していきたくです。今、学校でも委員を中心として活動していますが、返していない人もいてあいさつが少ないと思ひます。そういう課題を少しずつなくして行けるように地区長として今自分にできることを考えて行動したいと思ひます。



きたちゅう ねん いとう みつき
北中2年 伊藤 海月

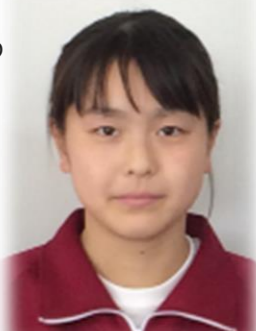
ビオトープづくりに参加して、自然環境の再生の仕方を体験しました。自然環境を守るためには、樹木を植えるだけではなく、外来種の植物の伐採をすることも知りました。コナラやクヌギなどの落葉樹を植え、ホタルを守るために小さな森づくりをしました。

僕達の町を守るため、大切な自然を次世代まで残すために、自然環境を守りたいです。そして府中地区の生徒代表として、この町を盛り上げていきます。



きたちゅう ねん たかしま かずき
北中2年 高島 一起

私は今の府中地区を現状維持するのではなく、もっと発展させていってほしいと思ひます。例えば、梅谷片山トンネル付近の自然を動物が住めるような環境にするために、もっとゴミのポイ捨てが減るように呼びかけを行ったり、どんどん自然を増やすために積極的にビオトープの活動を行ない、参加する人がもっと増えていくとよいと思ひました。



きたちゅう ねん せきや りか こ
北中2年 関谷 梨華子